

(19) 日本国特許庁(JP)

(12) 公開特許公報(A)

(11) 特許出願公開番号

特開2004-57760

(P2004-57760A)

(43) 公開日 平成16年2月26日(2004.2.26)

(51) Int.Cl.<sup>7</sup>

A47K 10/36

F1

A47K 10/36

G

テーマコード(参考)

審査請求 未請求 請求項の数 1 書面 (全 6 頁)

(21) 出願番号 特願2002-252024(P2002-252024)  
(22) 出願日 平成14年7月26日(2002.7.26)

(71) 出願人 502314621  
峰田 勇二  
長野県小諸市甲1639番地7号  
(72) 発明者 峰田 勇二  
長野県小諸市甲1639番地7号

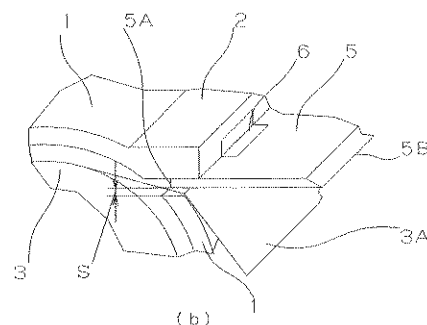
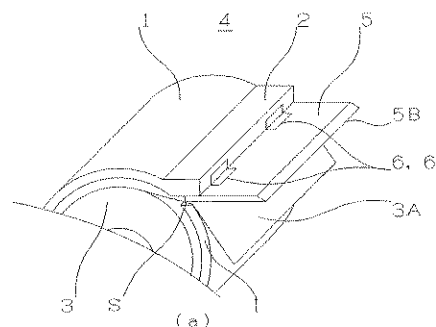
(54) 【発明の名称】 ペーパーホルダー

## (57) 【要約】

連続巻回された巻ペーパーの繰り出し・切断の一連の動作が片手でも容易に行うことができるペーパーホルダーを提供する。

【解決手段】ペーパー保持部1とペーパー上面カバー部2およびペーパー保持部1とペーパー上面カバー部2間に隙間Sを具備して連続巻回された巻ペーパー3を収納保持するとともに、隙間Sから巻ペーパー3の一部を繰り出し・切断するペーパーホルダーであって、一端側にペーパー繰り出し阻止部5A、他端側にペーパーカッター部5Bを有するペーパーカッター5を、ペーパー繰り出し阻止部5Aが隙間S側に位置し一定角度回転可能になるよう可動手段6, 6によりペーパー上面カバー部に配設せしめ、巻ペーパー3を必要長さ繰り出したらペーパー繰り出し阻止部5Aで巻ペーパー3の繰り出しを阻止するとともに、ペーパーカッター部5Bで巻ペーパー3を切断し、次回巻ペーパー3繰り出し時のつかみ代3Aが残るよう構成する。

【選択図】 図1



**【特許請求の範囲】****【請求項 1】**

ペーパー保持部 1 とペーパー上面カバー部 2 および前記ペーパー保持部 1 とペーパー上面カバー部 2 間に隙間 S を具備して連続巻回された巻きペーパー 3 を収納保持するとともに、前記隙間 S から巻ペーパー 3 の一部を繰り出し・切断するペーパーホルダーであって、前記ペーパーホルダー 4 は、一端側にペーパー繰り出し阻止部 5 A、他端側にペーパーカッター部 5 B を有するペーパーカッター 5 を、前記ペーパー繰り出し阻止部 5 A が隙間 S 側に位置し一定角度回転可能になるよう可動手段 6、6 によりペーパー上面カバー部 2 に配設せしめ、

前記巻きペーパー 3 を必要長さ繰り出したらペーパー繰り出し阻止部 5 A で巻きペーパー 3 の繰り出しを阻止するとともに、ペーパーカッター部 5 B で巻きペーパー 3 を切断し、次回巻きペーパー 3 繰り出し時のつかみ代 3 A が残るよう構成したことを特徴とするペーパーホルダー。

10

**【発明の詳細な説明】****【0001】****【発明の属する技術分野】**

本発明は、トイレットペーパー、キッチンペーパーおよび連続して巻回された巻ペーパーを収納保持するとともに、巻ペーパーの一部を繰り出し・切断するペーパーホルダーに係わり、特に、巻ペーパーの繰り出し・切断が片手でも容易にでき、且つ、次回繰り出し時のつかみ代が残るペーパーに関するものである。

20

**【0002】****【従来の技術】**

ペーパーホルダーの一例として、従来から、図 4 に図示する如きトイレットペーパー用のペーパーホルダー 4 A が知られている。このペーパーホルダー 4 A は、一般的に家屋等の壁に固定され使用されている。

なお、ペーパーホルダー 4 A の構成などは周知のことなので説明は簡略するが、連続巻回された巻ペーパーであるトイレットペーパー 3 をペーパー支持棒 5 C に挿入し、トイレットペーパー 3 を繰り出し・切断するようもちいられている。

**【0003】**

ここで、図 5 を参照して前記ペーパーホルダー 4 A を使用した時のトイレットペーパー 3 の繰り出しと切断方法を順次説明すると、まず、(1) トイレットペーパー 3 の先端部をつまみ易くするため、同図 (a) に示すように指 7 でトイレットペーパー 3 を回転させ、次に、(2) 同図 (b) に示すようにトイレットペーパー 3 の先端部を指 7 でつまむ。そして、(3) 同図 (c)、(d) に示すようにトイレットペーパー 3 を引っ張って必要長さ繰り出すが、ペーパー上面カバー 2 A は上下方向に可働するので、トイレットペーパー 3 の繰り出しはスムーズに行える。次に、(4) 同図 (e) に示すようにペーパー上面カバー部 2 A を指 7 等で押さえてトイレットペーパー 3 の回転止め、(5) 同図 (f) に示すようにトイレットペーパー 3 を切断する動作を行う。

30

**【0004】****【発明が解決しようとする課題】**

前述したペーパーホルダー 4 A を使用した時のトイレットペーパー 3 の繰り出し・切断には、両手を用いなくてはならない難点があった。また、怪我や障害等で片手が不自由な場合はこれら一連の動作が極めて困難になる難点があった。

40

**【0005】**

そこで本発明の目的は、これら難点を解消でき、巻ペーパーの繰り出し・切断の一連の動作が片手でも容易に行うことができるペーパーホルダーを提供することにある。

**【0006】****【課題を解決するための手段】**

本発明の観点では、本発明はペーパー保持部 1 とペーパー上面カバー部 2 および前記ペーパー保持部 1 とペーパー上面カバー部 2 間に隙間 S を具備して連続巻回された巻ペーパー

50

3の一部を収納保持するとともに、前記隙間かSから巻ペーパー3の一部を繰り出し・切断するペーパーホルダーであって、

ペーパーホルダー4は一端部にペーパー繰り出し阻止部5A、他端側にペーパーカッター部5Bを有するペーパーカッター5を、ペーパー繰り出し阻止部5Aが隙間S側に位置し一定角度回転可能になるよう可動手段6、6によりペーパー上面カバー部2に配設せしめ、巻ペーパー3を必要長さ繰り出したらペーパー繰り出し阻止部5Aで巻ペーパー3を繰り出し阻止するとともに、ペーパーカッター部5Bで巻きペーパー3を切断し、次回巻ペーパー3繰り出し時のつかみ代3Aが残るよう構成する。

#### 【0007】

本発明の観点によるペーパーホルダーは、一端側にペーパー繰り出し阻止部5A、他端側にペーパーカッター部5Bを有するペーパーカッター5を、ペーパー繰り出し阻止部5Aが隙間S側に位置し一定角度回転可能になるよう可動手段6、6によりペーパー上面カバー部2に配設せしめ、巻ペーパー3を必要長さ繰り出したらペーパー繰り出し阻止部5Aで巻ペーパー3の繰り出しを阻止するとともに、ペーパーカッター部5Bで巻ペーパー3を切断し、次回巻ペーパー3繰り出し時のつかみ代3Aが残るよう構成したので、巻ペーパー3の繰り出し・切断の一連の動作が片手で容易に行うことができるペーパーホルダーを提供できる。

#### 【0008】

##### 【発明の実施の形態】

以下、本発明を図に示す実施形態によりさらに詳細に説明する。なお、これにより本発明が限定されるものではない。

#### 【0009】

##### - 実施形態 -

図1は、本発明による一実施例のトイレットペーパー用ペーパーホルダーを示す説明図で、同図(a)は主要部部分斜視図、同図(b)は同図(a)の部分拡大図、図2は、図1のペーパーホルダーによる巻ペーパーの繰り出し・切断動作を示す説明図、図3は巻ペーパーの繰り出し・切断の原理を示す説明図で、同図(a)は巻ペーパー繰り出し時、同図(b)は巻ペーパー切断時の状態をそれぞれ示す説明図である。

#### 【0010】

図において、1は円筒状で巻ペーパー繰り出し用の隙間S(0.1mm~20mm)を設けたペーパー保持部、2はペーパー保持部1の一端に延設されたペーパー上面カバー部であり、ペーパー保持部1とペーパー上面カバー部2とは一体成形等の手段により巻ペーパー3を収納保持(内径12mm~40mm、外径12mm~140mm、幅70mm~120mm)するよう構成されている。5は一端側にペーパー繰り出し阻止部5A、他端側にペーパーカッター部5Bを有するペーパーカッター(長さ10mm~100mm、幅70mm~120mm、厚さ0.5mm~10mm)であり、巻ペーパー3の繰り出し時には水平状態に保たれ、巻ペーパー3の切断時には上側に一定角度(0°~45°)回転して巻ペーパー3の繰り出し阻止させるとともに、ペーパーカッター部5Bで巻ペーパー3を切断できるようペーパー上面カバー部2に蝶つがい等の可動手段6、6により配設せしめられている。

#### 【0011】

このように構成されたペーパーホルダー4では、巻ペーパーであるトイレットペーパー3の切断時にはペーパーカッター5が可動手段6、6部分またはペーパー上面カバー部2との接触点を支点とし、ペーパーカッター5Bが力点、ペーパー繰り出し阻止部5Aが作用点となるテコとして機能する。

即ち、テコの機能で、トイレットペーパー3はペーパー繰り出し阻止部5Aに作用する力でペーパー保持部1に押さえつけられ繰り出しを阻止され、繰り出されたトイレットペーパー3は力点をなすペーパーカッター部5B(予め鋭角で形成しておくのが望ましい)で切断される。

この時、ペーパー繰り出し阻止部5Aとペーパーカッター部5B間(10mm~100mm

10

20

30

40

50

m) のトイレットペーパー 3 部分は次回のつまみ代 3 A として確保される。従って、トイレットペーパー 3 の繰り出し・切断の一連の動作が片手でも容易に行えるペーパーホルダーが提供される。

#### 【0012】

本発明によるペーパーホルダー 4 を使用した時のトイレットペーパー 3 の繰り出し・切断の一連の動作、原理について、図 2, 図 3 を参照し説明する。まず、トイレットペーパー 3 を繰り出す場合、(1) 図 2 (a) に示すように初期状態からつまみ代 3 A (長さ 10 mm ~ 100 mm 程度) があるので、トイレットペーパー 3 の先端部を指 7 でつまむ。次に、(2) 図 2 (b), (c) に示すようにトイレットペーパー 3 を引っ張って必要長さだけ繰り出す動作を行う。このとき、ペーパーカッター 5 は水平状態にあり、繰り出し作業は容易である。なお、ペーパーカッター 5 が水平状態を保つ条件は、テコとしての支点と作用点間の長さを 1 とした時の支点と力点間の長さを L とすれば、L を 1.1 以上にするのが望ましい。(図 3 (a) 参照)

次に、トイレットペーパー 3 を切断するには、(3) 図 2 (d) に示すようにトイレットペーパー 3 を上側に持ち上げれば、ペーパーカッター 5 が図 3 (b) に示すように上側に一定角度 ( $1^{\circ} \sim 45^{\circ}$ ) 回転してテコの作用点 10 となるペーパー繰り出し阻止部 5 A でトイレットペーパー 3 の繰り出しを阻止し、テコの力点 9 となるペーパーカッター部 5 B でトイレットペーパー 3 を切断する。同時に、つまみ代 3 A を残してペーパーカッター 5 は水平状態に戻る。

#### 【0013】

なお、本発明は、前述したトイレットペーパー用のペーパーホルダーにだけでなく、同様の構造をしたペーパーホルダーや、例えば、ロール型キッチンペーパー (ペーパータオル) やラップフィルムの製品箱等に応用可能であり、同様の効果が得られることはいうまでもない。

#### 【0014】

##### 【発明の効果】

発明によれば、簡便な手段により、連続して巻回された巻ペーパーの繰りし・切断の一連の動作を片手でも容易に行うことができるペーパーホルダーを提供でき、その実用上の効果は大きなものがある。

##### 【図面の簡単な説明】

【図 1】本発明による一実施例のトイレットペーパー用ペーパーホルダーを示す説明図で、同図 (a) はその要部部分斜視図、同図 (b) は同図 (a) の部分拡大図である。

【図 2】図 1 のペーパーホルダーによる巻ペーパーの繰り出し・切断の一連の動作を示す説明図である。

【図 3】図 1 のペーパーホルダーによる巻ペーパーの繰り出し・切断の原理を示す説明図で、同図 (a) は巻ペーパー繰り出し時、同図 (b) は巻ペーパー切断時の状態を示す説明図である。

【図 4】従来例のペーパーホルダーを示す斜視図である。

【図 5】従来例のペーパーホルダーによる巻ペーパーの繰り出し・切断の一連の動作を示す説明図である。

##### 【符号の説明】

- 1, 1 A ペーパー保持部
- 2, 2 A ペーパー上面カバー部
- 3 巻ペーパー
- 3 A つまみ代
- 4, 4 A ペーパーホルダー
- 5 ペーパーカッター
- 5 A ペーパー繰り出し阻止部
- 5 B ペーパーカッター部
- 5 C ペーパー支持棒

10

20

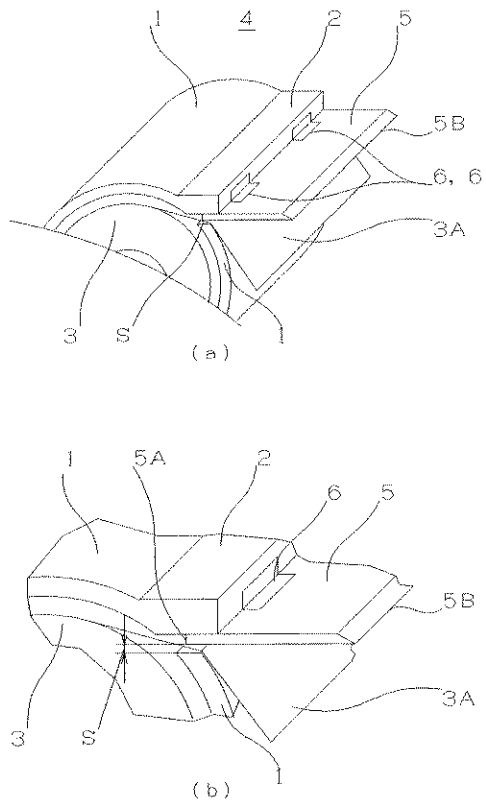
30

40

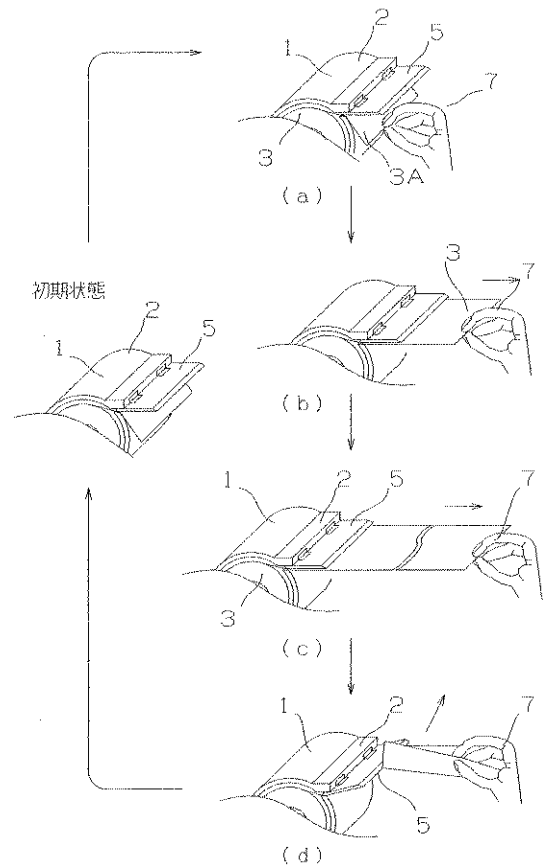
50

6, 6 可動手段  
 7 指  
 8 支点  
 9 力点  
 10 作用点  
 S 隙間

【図1】

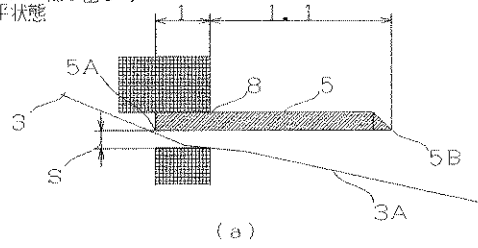


【図2】

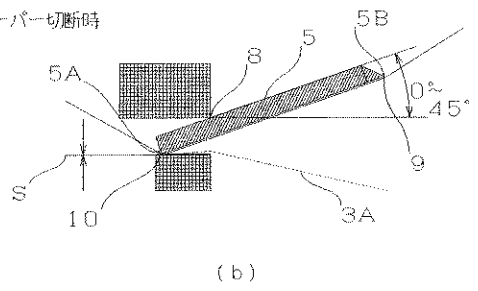


【図 3】

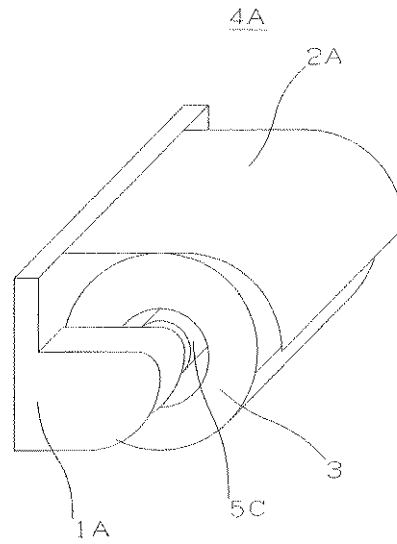
ペーパー繰り出し時  
水平状態



ペーパー切断時



【図 4】



【図 5】

